栃木県の古墳と埴輪

見に行ける古墳から栃木の古墳時代を考える

2020.10.25　　於　栃木県埋蔵文化財センター

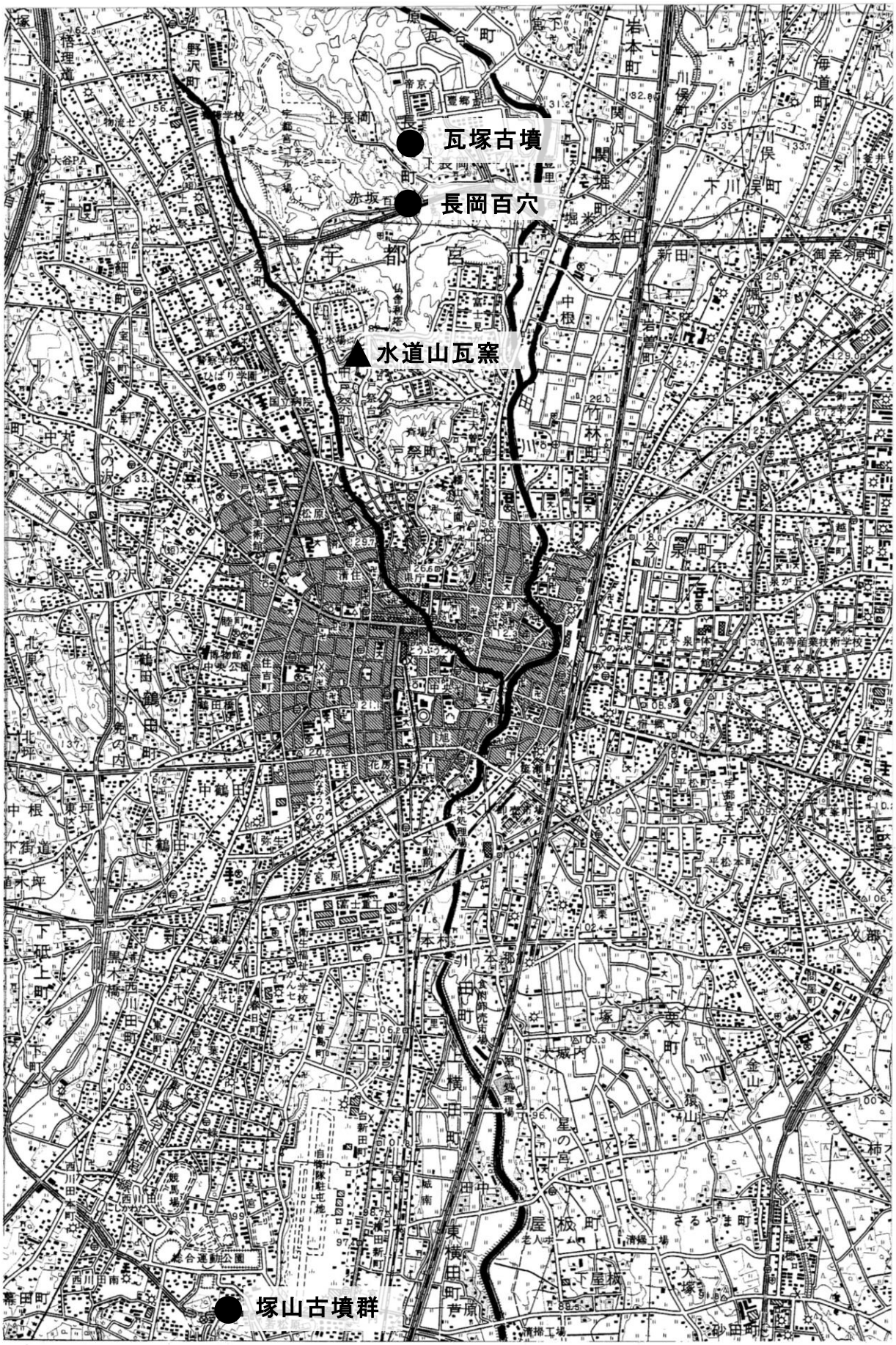
はじめに
１　笹塚古墳と塚山古墳
２　塚山系円筒埴輪
３　埴輪はどこでつくられたのか
４　宇都宮丘陵での埴輪生産
５　宇都宮南部地域と宇都宮丘陵
まとめ

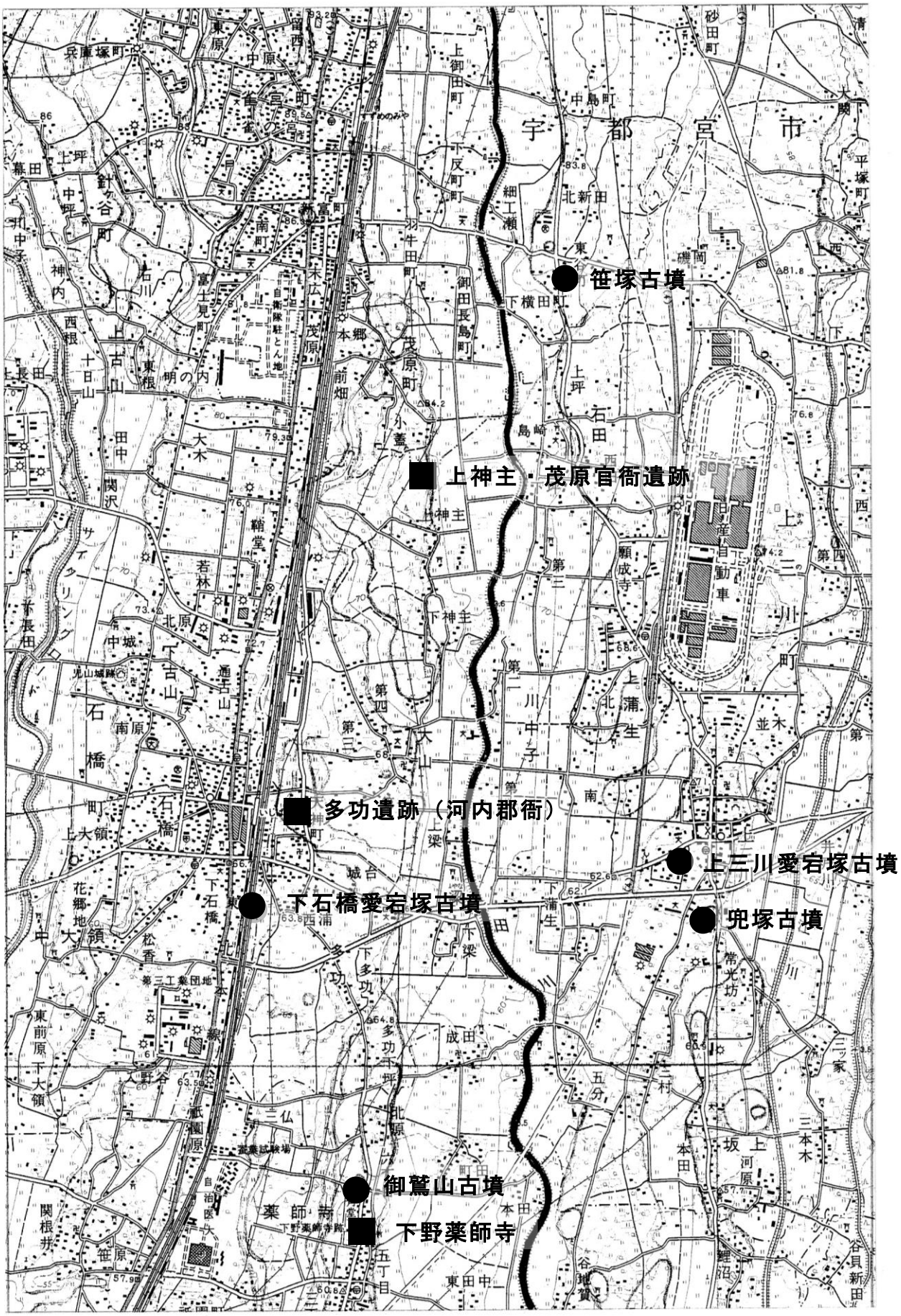
古墳時代の時期区分

時期		特徴	代表的古墳
出現期	３世紀後半	奈良盆地南東部で前方後円墳が成立。西日本を中心に築造開始。	箸墓古墳
前期	４世紀	古墳が全国的に伝播。東日本でも前方後円（方）墳の築造が多くなる。	メスリ山古墳
中期	５世紀	全長２００ｍを超える巨大古墳が築造される。各地に最大級の古墳が造られる。	応神天皇陵古墳 仁徳天皇陵古墳
後期	６世紀	大形の前方後円墳の数が少なくなる。 小形の古墳が、爆発的ともいわれるほど多数築造される。	今城塚古墳
終末期	７世紀	前方後円墳が造られなくなる。	聖徳太子墓

栃木県の古墳

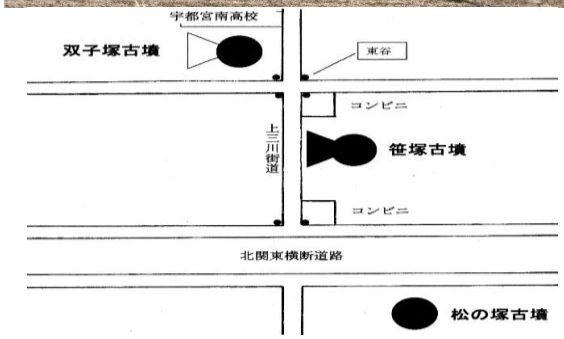
時期		特徴	代表的古墳
出現期	３世紀後半		
前期	４世紀	前方後方墳が造られる	上・下侍塚古墳
中期	５世紀	前方後円墳が造られる	笹塚古墳・塚山古墳
後期	６世紀	60m級の前方後円墳が多く造られる 小形の古墳が、爆発的ともいわれるほど多数築造される。	摩利支天塚古墳・琵琶塚古墳・吾妻古墳
終末期	７世紀	前方後円墳が造られなくなる	壬生車塚古墳


瓦塚古墳
長岡百穴
水道山瓦窯
塚山古墳群


笹塚古墳
上神主・茂原官衙遺跡
多功遺跡（河内郡衙）
上三川愛宕塚古墳
下石橋愛宕塚古墳
兜塚古墳
御鷲山古墳
下野薬師寺
宇都宮市

笹塚古墳

所在地：宇都宮市東谷



行き方・歩き方：県道「宇都宮−上三川線」、「東谷」の交差点の南東。県道沿いに標柱がある。古墳沿いに2～3台の駐車スペースがあるので、ここに車をおいて、徒歩で双子塚古墳・松の塚古墳などが巡れる。

古墳メモ

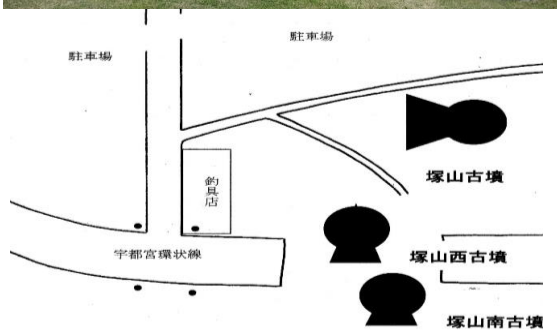
笹塚古墳：墳丘長約100mの前方後円墳。5世紀中葉の築造。墳丘に葺石・埴輪を持ち、盾形の二重周湟を有する。

双子塚古墳：墳丘長約73mの前方後円墳であるが、西側に存在した前方部は削平されている。笹塚古墳に先行して築造されたと推定されるが詳細不明。

松の塚古墳：墳丘直径50mの円墳。発掘調査で確認された火山灰から、5世紀後半の築造と推定される。

塚山古墳

所在地：宇都宮市西川田



行き方・歩き方：宇都宮環状線から栃木県総合運動公園駐車場へ。徒歩で塚山古墳・塚山西古墳・塚山南古墳などが巡れる。

古墳メモ

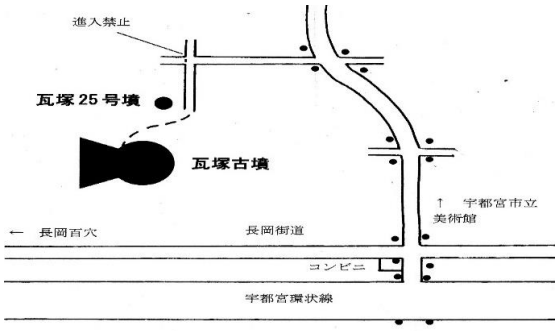
塚山古墳：墳丘長98mの前方後円墳。5世紀中葉の築造。墳丘に葺石・埴輪を持ち、盾形の周湟を有する。

塚山西古墳：墳丘長61mの帆立貝形前方後円墳。5世紀後葉の築造。

塚山西古墳：墳丘長58mの帆立貝形前方後円墳。5世紀末葉の築造。

瓦塚古墳

所在地：宇都宮市長岡



行き方・歩き方：宇都宮環状線から宇都宮市美術館に向かう。帝京大学の交差点を左折し、突き当たりを左折。奥まで行くと瓦塚古墳群の入り口。邪魔にならないところに車を停めて古墳へ。地元の方々が整備してくれた木道を登ると、瓦塚25号墳があり、さらに進むと瓦塚古墳に至る。

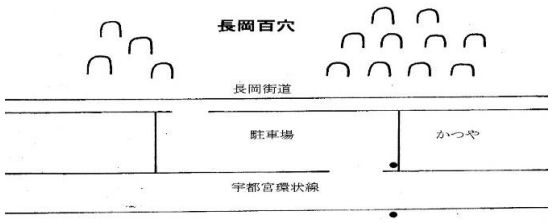
古墳メモ

瓦塚古墳：墳丘長50mの前方後円墳。6世紀後半の築造。横穴式石室を内部主体とする。石室は埋め戻されているため見ることはできない。葺石・埴輪をもつことが確認されている。

瓦塚25号墳：直径18mの円墳。6世紀後半のつく造。主体部は横穴式石室であり、現地に露出保存されている。石室は長さ3.5m・幅0.9m。高さは1.0m。

長岡百穴

所在地：宇都宮市長岡



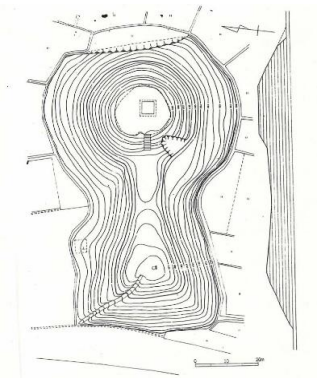
行き方・歩き方：宇都宮環状線のすぐ北側に位置するが、東へ向かっていないと入れない。「かつや」が目印。西へ向かっている場合は、宇都宮市美術館に向かう道を北に入り、すぐの信号を左折、「長岡街道」（少し狭い道）をたどると百穴に至る。

古墳メモ

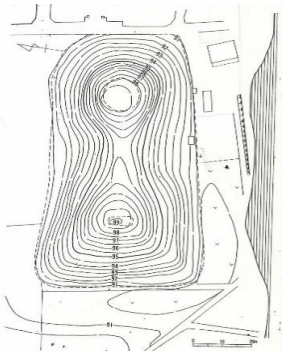
現地の案内板には52基とあるが、実測報告書によれば51基とのこと。しかもそのうち1基は床面だけが残るのみなので実際の“穴”は50基である。7世紀を中心に掘られたと推定。

横穴墓はしばしば横穴式石室と比べて語られ、“古墳を造った人々より下位に位置つけられる人々の墓”という認識がもたれてきた。しかし、栃木で横穴墓が造られるようになった7世紀頃は古墳そのものを築くことが減る時期であり、横穴墓の出現は単に階層差でなく、それ以外の要因がありそうである。

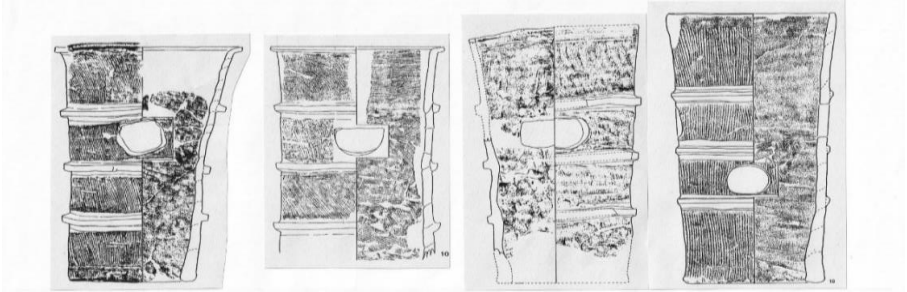
参考



笹塚古墳

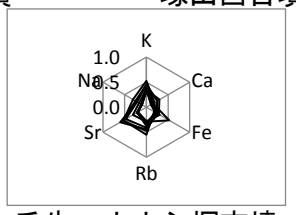


塚山古墳

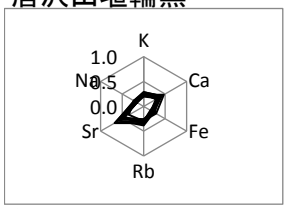


笹塚古墳　塚山古墳　塚山西古墳　塚山南古墳

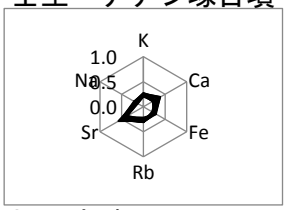
唐沢山埴輪窯



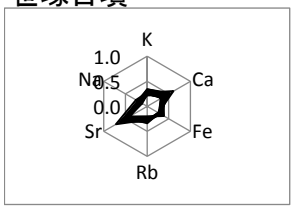
壬生・ナナシ塚古墳



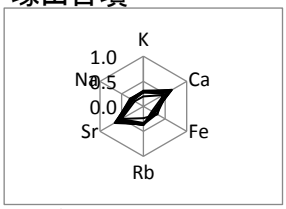
笹塚古墳



塚山古墳



瓦塚古墳



水道山瓦窯